企業景況調查報告書

(令和3年10~12月期)

	< 目 次 >	
質問1	調査の概要・結果概要	• • • • • • • 1
質問2	直面している経営上の問題点	2
質問3	事業承継について	•••••3
質問4	意見等自由記載欄	• • • • • • • 4
DI 集計	·結果·分布	••••5
調査票	様式	• • • • • • 6

倉吉商工会議所

倉吉市明治町 1037-11 TE L0858-22-2191 FA X0858-22-2193

Email cci3103@kurayoshi-cci.or.jp

倉吉商工会議所企業景況調査報告書(2021年10~12月)

調査対象企業

倉吉市内の商工会議所会員企業 100 社

(建設業21社、製造業19社、卸売業11社、小売業22社、サービス業21社、その他6社) 各事業所宛にFAXにて調査票を送付し、FAXにて返信依頼。必要に応じて訪問回収。

調査方法調査時期

令和3年12月下旬~令和4年1月上旬

回収状況

87 社 (回収率 87%) ※前回 (7~9月) 93 社

(建設業19社、製造業19社、卸売業6社、小売業17社、サービス業20社、その他6社)

今期は大きく上昇するも、来期は再び下降する見通し

<今期の状況>(5ページ表参照)

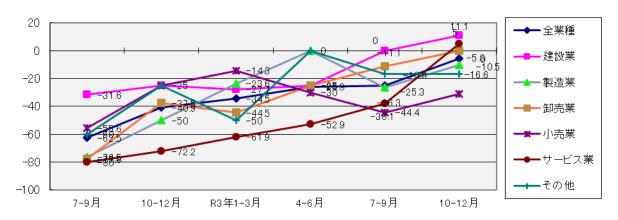
今期の全業種の業況 DI は、前年同期比で前期の▲25.3 から 19.5 ポイント上昇し、▲5.8 となった。業種別に見ると、それぞれ建設業は 11.1 (前期 0.0)、製造業は▲10.5 (前期▲26.3)、卸売業は 0.0 (前期▲11.1)、小売業は▲31.3 (前期▲44.4)、サービス業は 5.0 (前期▲38.1) と 5 業種で上昇している。また、その他の業種は▲16.6 (前期▲16.6) で不変となった。

<来期の見通し> (5 ページ表参照)

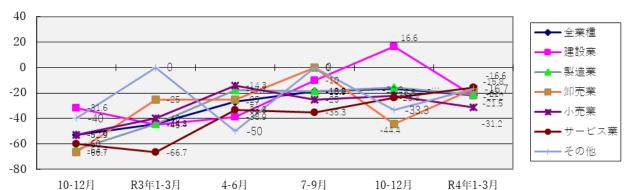
来期の見通し(2022年1~3月)では、全業種の DI 値は前期の \blacktriangle 16.5から下降し、 \blacktriangle 21.5となった。業種別に見ると建設業は \blacktriangle 22.2 (前期 \blacktriangle 16.6)、製造業は \blacktriangle 21.0 (前期 \blacktriangle 15.8)、小売業は \blacktriangle 31.2 (前期 \blacktriangle 22.2) と3業種で下降する見通しとなった。一方、卸売業は \blacktriangle 16.6 (前期 \blacktriangle 44.4)、サービス業は \blacktriangle 15.8 (前期 \blacktriangle 23.8)、その他の業種は \blacktriangle 16.7 (前期 \blacktriangle 33.3) と3業種で上昇する見通しとなった。全業種の今期の状況は大きく上昇したが、来期は再び下降する見通しを示す結果となった。経営上における課題としては、「売上・受注減少」が全業種で上位に挙げられた。また、建設業・製造業では「原材料・仕入価格上昇」が引き続き上位に挙がる結果となった。

<業況判断DIの推移> ※今期のDI値集計結果についてはP5をご参照下さい。

(1) 今期の状況 <業種別>



(2)来期の見通し<業種別>



質問2 直面している経営上の問題点(上位3点を回答)

01 競争激化 02 消費・需要の停滞 03 売上・受注減少 04 売上・受注単価低下

05 原材料•仕入価格上昇 06 原材料•在庫不足 07 原材料•在庫過剰

08 店舗・生産設備不足・老朽化 09 店舗・生産設備過剰 10 経費の増加 11 人手不足

12 人手過剰 13 利益率低下 14 代金回収難 15 資金繰り難 16 新分野進出

17 その他: 具体的に()

〔上位項目〕 ※()内は件数

分 类	質	1 位	2 位	3 位
V 7/4-4-2-2	当 期	売上・受注減少(42)	原材料・仕入価格上昇(40)	人手不足(36)
全業種	前期	売上・受注減少(49)	消費・需要の停滞 (38)	原材料・仕入価格上昇 (33)
建設業	当期	原材料・仕入価格上昇(13) 人手不足(13)	売上・受注減少(10)	原材料・在庫不足 (6)
建议来	前期	原材料・仕入価格上昇(12)	売上・受注減少(8) 人手不足(8)	利益率低下(5)
製造業	当 期	原材料・仕入価格上昇(11)	売上・受注減少(10)	人手不足(9)
衣 坦米	前期	売上・受注減少(10)	原材料・仕入価格上昇 (9)	消費・需要の停滞 (7)
卸売業	当 期	原材料・仕入価格上昇(4)	消費・需要の停滞 (3)	競争激化 (2) 売上・受注減少 (2) 経費の増加 (2) 人手不足 (2)
	前期	競争激化(6) 売上・受注減少(6)	消費・需要の停滞 (4)	利益率低下(3)
小売業	当 期	売上・受注減少 (8)	消費・需要の停滞 (7)	競争激化(5)
行列来	前期	消費・需要の停滞(11) 売上・受注減少(11)	競争激化(6)	店舗・生産設備不足・老朽化(4) 人手不足(4)
サービス業	当期	売上・受注減少 (9)	消費・需要の停滞(8) 原材料・仕入価格上昇(8) 人手不足(8)	競争激化(5)
	前期	売上・受注減少(11)	消費・需要の停滞(10)	人手不足(6)
	当期	経費の増加(4)	売上・受注減少 (3)	競争激化 (2) 人手不足 (2)
その他	前期	消費・需要の停滞 (3) 売上・受注減少 (3)	原材料・仕入価格上昇 (2) 経費の増加 (2)	競争激化 (1) 売上・受注単価低下 (1) 人手不足 (1) 利益率低下 (1) その他 (1)

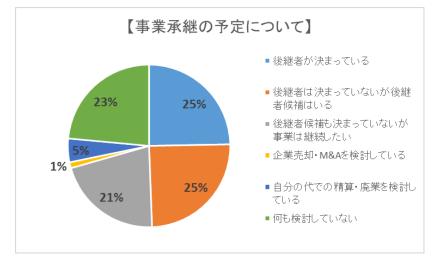
17 その他

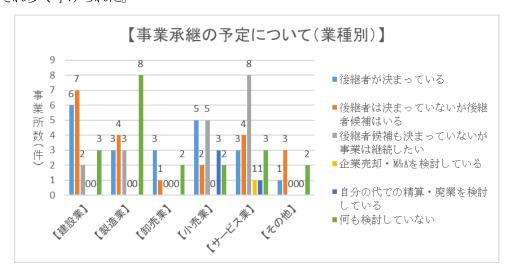
- コロナの影響
- ・ 熟練技術者の不足

質問3 事業承継について

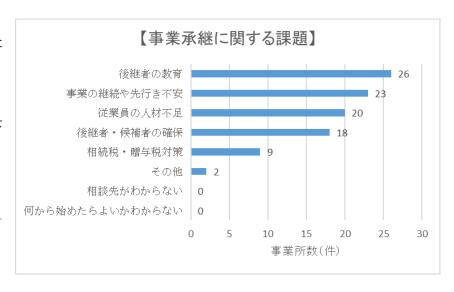
全体の約7割の事業者が事業承継に前向きな姿勢

事業承継の予定については、「後継者が決まっている」「後継者は決まっていないが後継者候補はいる」「後継者候補も決まっていないが事業は継続したい」がそれぞれ同程度の割合を示した。「企業売却・M&Aを検討している」も合わせると、約7割の事業者が事業承継を前向きに検討していることが窺える。一方、後継者が決まっていないという回答も多かったことから、後継者不足の課題も露呈される結果となった。業種別に見てみると、建設業では後継者又は後継者候補がいる事業者が多いことが示された。一方、製造業では「何も検討していない」、サービス業では「後継者候補も決まっていないが事業は継続したい」という回答がそれぞれ多く挙げられた。





事業承継に関する課題については、「後継者の教育」が最も多く、次いで「事業の継続や先行き不安」「従業員の人材不足」「後継者・候補者の確保」が多く挙げられた。「相続税・贈与税対策」については、既に後継者・後継者候補が決まっているという回答が多かった建設業で多く挙げれらた。また、「その他」の回答としては、「関係機関に相談しているが、市などの協力も得たい」という意見が挙げられ、事業者と地域が協力して取り組む必要性も示される結果となった。



質問4 現在の景況感、経営上の問題点についての意見又、行政等への要望について

【建設業】

- ・ウッドショックで原価が上昇し、粗利益を圧迫している。補助金をなんとか。
- ・木材、ベニヤ関係の単価がなかなか下がらない。ボイラー、エコキュート、洋式トイレ等の納期がかかっている。
- ・コロナ対策の資金を増やして欲しい。
- ・公共工事の大幅な減少により、次第に運転資金に影響が出始めた。主幹産業ともいえる建設業が活性化しないと 地域は発展しない。行政も予算がないというばかりでなく、計画的にビジョンを描いて、改修等進めてほしい。特 に高齢化が進んでいるので、10年後あたりには市そのものが沈没してしまう恐れを感じている。今のままだと若 者にそっぽを向かれるのは目に見えている。

【製造業】

・ウッドショックにより仕入材単価が上昇し、現在高値安定の状況です。なかなかお客様の理解が難しく、今後が 不安です。

【卸売業】

・12月に入り少し良くなっている感じ。

【小売業】

コロナと天候に振り回されるイメージがある。

【サービス業】

- ・空き店舗、広い駐車場の早急なる有効活用。
- ・コロナ対策にかかわらず、地域全体の経済が縮小していると心配しております。県外又は県内との交通を活発にするためと、経済対策として公共事業をやっていただきたいと思っています。

D I 集 計(前年同期比=2021年10~12月期、来期の見通し=2022年1~3月期)

【製造業・非製造業別】

	~~= /\////Z						
	1. 売	上高	2. 売_	上単価	3. 収益状況		
	前年同期比	来期の見通し	前年同期比	来期の見通し	前年同期比	来期の見通し	
全業種	-4. 7	-22. 8	10. 4	-1. 2	-21. 2	-28. 6	
製造業	15. 8	-10. 5	15. 8	5. 2	-33. 3	-11. 1	
非製造業	-10. 5	-26. 5	8. 9	-3. 0	-17. 9	-33. 3	

	4. 資金繰り		5. 借之	入難度	6. 雇用人員		
	前年同期比	来期の見通し	前年同期比	来期の見通し	前年同期比	来期の見通し	
全業種	-8. 1	-7. 3	-2. 3	1. 2	-7. 3	0.0	
製造業	0.0	-5. 5	0.0	0.0	-29. 4	21. 0	
非製造業	-10. 2	-7. 6	-2. 9	1. 5	-1. 5	-6. 4	

	7. 業況判断				
	前年同期比	来期の見通し			
全業種	-5. 8	-21. 5			
製造業	-10. 5	-21. 0			
非製造業	-4. 6	-21.5			

【業種別】

【木性川】							
	1. 売	上高	2. 売_	上単価	3. 収益状況		
	前年同期比	来期の見通し	前年同期比	来期の見通し	前年同期比	来期の見通し	
全業種	-4. 7	-22. 8	10. 4	-1. 2	-21. 2	-28. 6	
建設業	-5. 2	-17. 7	15. 8	0.0	-15. 8	-33. 3	
製造業	15. 8	-10. 5	15. 8	5. 2	-33. 3	-11. 1	
卸売業	33. 4	-16. 6	50.0	16. 7	16. 6	-16. 6	
小売業	-35. 3	-41. 2	-5. 8	-11. 7	-47. 0	-52. 9	
サービス業	-5. 0	-16. 6	10.0	-5. 2	-5.0	-15. 8	
その他	-20. 0	-50.0	-16. 7	0.0	-20. 0	-50. 0	
非製造業	-10. 5	-26. 5	8. 9	-3.0	-17. 9	-33. 3	

	4. 資金	金繰り	5. 借之	入難度	6. 雇用人員		
	前年同期比	来期の見通し	前年同期比	来期の見通し	前年同期比	来期の見通し	
全業種	-8. 1	-7. 3	-2. 3	1. 2	-7. 3	0.0	
建設業	10. 5	5. 5	10. 5	22. 2	-5. 2	-22. 2	
製造業	0.0	-5. 5	0.0	0.0	-29. 4	21. 0	
卸売業	-16. 7	-16. 7	0.0	0.0	-16. 7	0.0	
小売業	-35. 3	-17. 6	-29. 4	-29. 4	13. 3	13. 3	
サービス業	-10.0	-5. 2	5. 0	5. 0	-5. 3	-11. 1	
その他	0.0	-20. 0	0.0	16. 7	0.0	0.0	
非製造業	-10. 2	-7. 6	-2. 9	1. 5	-1.5	-6. 4	

	7. 業況判断				
	前年同期比	来期の見通し			
全業種	-5. 8	-21. 5			
建設業	11. 1	-22. 2			
製造業	-10. 5	-21.0			
卸売業	0.0	-16. 6			
小売業	-31. 3	-31. 2			
サービス業	5. 0	-15. 8			
その他	-16. 6	-16. 7			
非製造業	-4. 6	-21. 5			

※DI値

売上・採算・業況などの各項目についての、判断の状況を表します。ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示します。

したがって、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、**強気・弱気などの景気感の相対的な広がり**を意味するものです。 **DI=(増加・好転などの回答割合)-(減少・悪化などの回答割合)**



倉吉商工会議所企業景況調査票(2021年10~12月期)

調査元:倉吉商工会議所 TEL:22-2191

FAX:22-2193

【質問1】前年同期と比較した今期(2021 年 10~12 月)の状況と、今期と比較した来期(2022 年 1~3 月)の見通しについて、最も近いものに○印をお付けください。

1)	売 上 髙	(前年同期比)	1.	増	加	2.	不	変	3.	減	少
		(来期の見通し)	1.	増	加	2.	不	変	3.	減	少
2)	売上単価	(前年同期比)	1.	上	昇	2.	不	変	3.	低	下
		(来期の見通し)	1.	上	昇	2.	不	変	3.	低	下
3)	収益状況	(前年同期比)	1.	好	転	2.	不	変	3.	悪	化
		(来期の見通し)	1.	好	転	2.	不	変	3.	悪	化
4)	資金繰り	(前年同期比)	1.	好	転	2.	不	変	3.	悪	化
		(来期の見通し)	1.	好	転	2.	不	変	3.	悪	化
5)	借入難度	(前年同期比)	1.	容	易	2.	不	変	3.	困	難
		(来期の見通し)	1.	容	易	2.	不	変	3.	困	難
6)	雇用人員	現在の従業員数		人()	ち正規雇用	者		人)			
		(前年同期比)	1.	増	加	2.	不	変	3.	減	少
		(来期の見通し)	1.	増	加	2.	不	変	3.	減	少
7)	貴社の業況	(前年同期比)	1.	好	転	2.	不	変	3.	悪	化
		(来期の見通し)	1.	好	転	2.	不	変	3.	悪	化

【質問2】今期直面している経営上の問題点について、重要度の高い順に該当する番号を回答欄へご記入ください。

/			凹谷欄
•	01 競争激化	10 経費の増加	1
	02 消費・需要の停滞	11 人手不足	_1位
	03 売上・受注減少	12 人手過剰	
	04 売上・受注単価低下	13 利益率低下	
	05 原材料·仕入価格上昇	14 代金回収難	2位
	06 原材料·在庫不足	15 資金繰り難	
	07 原材料·在庫過剰	16 新分野進出	
	08 店舗·生産設備不足·老朽化	17 その他: 具体的に	3位
	09 店舗・生産設備過剰	()	'

【質問3】 貴社の事業承継の状況について、以下の質問にご回答ください。

1.	事業	承紹	の予定について
1) ()	後継者が決まっている / ② ()後継者は決まっていないが後継者候補はいる
3) ()	後継者候補も決まっていないが事業は継続したい / ④ () 企業売却・M&Aを検討している
(5)) ()	自分の代での精算・廃業を検討している / ⑥()何も検討していない
2.	【1で	①~	④のいずれかを回答した方】事業承継に関する課題について(※複数回答可)
1) ()	事業の継続や先行き不安 / ②()後継者の教育 / ③()後継者・候補者の確
$\widehat{4}$) ()	相続税・贈与税対策 / ⑤ () 従業員の人材不足 / ⑥ () 相談先がわからない
$\widehat{7}$) ()	何から始めたらよいかわからない
8) ()	その他[

3. その他、事業承継に関する意見等がございましたらご記入ください。

【質問4】	現在の景況感、	経宮上の問題点についての意見乂、	行政等への要望についてご記入ください。	